2023 年 11 月 30 日

未来サミットに向けた政府間協議に向けた プラン・インターナショナルからの提言

来年 9 月に開催予定の未来サミットの準備プロセスの一環として、2023 年 12 月に開催される加盟国協議向けて、プラン・インターナショナルではメッセージを発信しました。

プラン・インターナショナルは、各国政府がこれらの協議に積極的かつ有意義に参加し、包摂的で透明性のある参加型プロセスを求めることを期待します。私たちは、あらゆる子ども、特に女の子、思春期の若者、そしてユース女性に関し、以下の優先事項を盛り込むことを強く求めます。未来サミットに向けた議論に、彼らが直面する権利、ニーズ、特有の困難を反映させることは、極めて重要と考えます。これらの優先事項に取り組むことによってのみ、私たちは、誰一人取り残されることなく、現在と将来の世代のための持続可能な未来を形成し得るのです。

プラン・インターナショナルでは、議論へのユースの参画を求め、ユースと連携して、未来サミットで採択される成果文書に以下の事項を盛り込むことが重要であると考えています。

- **人権に基づくアプローチの重要性と、すべての人権は普遍的であり、不可分であり、相互依存的であり、相互に関連していること、および子どもの権利を中心に据えることを含め、成果文書章において強調すること。**
- **女の子、思春期の若者、ユース女性のエンパワーメントを強調し、人権とジェンダー平等を含む横断的なアプローチの必要性を強調すること。**

具体的に成果文書に対し、以下の事項を求めます。

1 持続可能な開発と開発のための資金調達

- 子どもとユースを権利主体として、可能な開発のための 2030 アジェンダの担い手として、積極的な貢献者として認識し、誰一人取り残さないという誓約を再確認すること。
- ジェンダー平等とすべての女性と女の子のエンパワーメントは、SDGs5 に限定されるものではなく、2030 アジェンダ全体を達成するための重要な前提条件であることを認識すること。
- あらゆる多様性を持つ女の子と思春期の若者のための公平なアクセスを含め、ジェンダー・トランスフォーマティブで、包摂的で質の高い教育を確保するための行動を促進すること。
- SDGs の実施を加速するため、ジェンダー平等に焦点を当てた政策やプログラムへの投資拡大、および/または、地域、コミュニティ、女の子、ユース主導の組織への資源の移行を含む、一般的な ODA の増額を行うこと。
- 意思決定、政策、プログラムにおいて、子ども、特に女の子、思春期の若者、若い女性と有意義な協議を行い、ジェンダーと年齢に配慮した気候変動対策の必要性を強調すること。
- 雇用と起業の機会を優先する経済政策の必要性を強調すること。

2 国際平和と安全保障

- 平和構築と紛争解決の取り組みにおいて、倫理的で有意義なユースの参加と積極的な協議の重要性を強調すること。
- 性暴力およびジェンダーに基づく暴力（GBV）や、武装集団への子どもの徴用を防止するための措置を含め、紛争地帯における子どもとユースの保護の必要性を強調すること。
- 紛争の影響を受けたすべての若者のために、性と生殖に関する保健サービス、教育、心理社会的支援など、ユースに配慮したサービスを継続的に提供する必要性を強調すること。

3 科学技術・イノベーションとデジタル連携

- デジタル包摂性とデジタル・ジェンダー・ギャップ解消の重要性を強調すること。あらゆる多様な子どもやユースが、インターネットやデジタル技術に公平にアクセスできるようにすること。デジタル化する社会から取り残される危険にさらされている思春期の女の子をはじめとする、疎外された集団が直面する特定の困難を認識すること。
- デジタル技術を安全かつ自信を持って使いこなすために必要なスキルと知識を、すべてのユースに身につけさせるため、あらゆるレベルでデジタルリテラシーとスキルを統合した教育システムの必要性を強調すること。
- 多様な属性を持つユースごとに異なるニーズへの理解を深め、適切に対応するために、年齢やジェンダー、その他関連する属性について細分化されたデータを収集する重要性を強調すること。
- 性暴力および GBV、ハラスメント、虐待を含む、あらゆる形態の暴力を抑止し、根絶する必要性を強調すること。
- すべてのデジタル技術の開発、検証、実施、監視において、ユース、特に女の子と思春期の若者の完全かつ効果的で有意義な参加が重要であることを強調すること。

4 ユースと将来世代

- あらゆるレベルの政策、プログラム、行動、意思決定において、あらゆる多様性を持つユース、とりわけ女の子、思春期の若者、若い女性の、完全かつ効果的で有意義な参加を可能にする具体的なメカニズムを求めること。
- 政策課題における優先事項として、ユースのメンタルヘルスとウェルビーイングに取り組むことの重要性を強調すること。
- 将来の雇用市場の需要や環境問題に対応した教育を改革する必要性を強調すること。
- 気候変動が現在および将来の世代に与える影響を認識し、持続可能な慣行と責任ある消費への取り組みを求めること。
- 若者の失業を減らし、労働市場から疎外されたグループに雇用機会を創出することを目的とした包摂的な経済政策の重要性を強調すること。
- 子どもとユースに対する性暴力と GBV を含むあらゆる形態の暴力の根本原因に取り組む包括的戦略の必要性を強調すること。
- 有意義なユースの参画に関し、国連としてもその必要性を強調すること。具体的には以下の2点を含む。
    1. 意義あるユースの関与のための国際基準を通じて、あらゆるレベルにおける意思決定へのユースの参加を拡大すること。
    2. 世界および地域レベルの国連の意思決定プロセスにおいて、有意義なユースの関与を義務化すること。

- ユース担当事務次長補 [1]の職務権限を強化することの重要性を強調すること。これには、国連システム内において、より有意義で、包摂的、効果的かつ多様なユースの関与を促進するため、同事務次長補佐室に対する資源と支援の拡大を支持すること、また、多様で有意義かつ持続的なユース参加のため に、定期的な国連ユース・タウンホールの設置を支援することを盛り込む。
- 気候変動が現在および将来の世代に与える影響を認識し、持続可能な慣行と責任ある消費への取り組みを求めること。
- 若者の失業を減らし、労働市場から疎外されたグループに就労機会を創出することを目指す包摂的な経済政策の重要性を強調すること。
- GBV を含む、子どもとユースに対する暴力の根本原因に取り組む包括的戦略の必要性を強調すること。

5 世界的統治の変革

- 国連プロセスへのユース参加を制度化することを含め、世界統治機関の改革プロセスにユースの声を有意義な形で取り入れること。
- ユースへの長期的な影響を考慮した、誠実で説明責任のある統治システムの必要性を強調すること。これには、透明性、説明責任、評価プロセスにおける多様なユースの有意義な参加と協議に焦点を当てた、政策の実施進捗を追跡するための定期的な報告とモニタリングシステムを含めるべきである。
- 持続可能性と資源の公平な配分を優先し、ユースが誰一人取り残されないような世界経済の枠組みの必要性を強調すること。

行動への呼びかけ

プラン・インターナショナルは、各国政府に対し、未来サミットに向けた最初の協議の場において、これらの優先事項を声明に盛り込むことを強く要請します。非常に困難なプロセスであることを認識していますが、これらの分野における早期の取り組みが、公平で包摂的かつ持続可能な未来に大きく貢献できることを確信しています。

プラン・インターナショナルは、これらの優先事項に取り組まれる各国の政治リーダーの努力を改めて評価すると同時に、加盟国協議において、女の子や思春期の若者、ユース女性のエンパワーメントを強調し、人権とジェンダー平等を含む横断的なアプローチの必要性が認識され、成果文書に組み込まれることを求めます。

以上

[1] https://www.unic.or.jp/files/UN-Youth-Strategy_Japanese.pdf